
兵庫県伊丹市大字 東野の小字地名

東野の小字

1. 東野屋敷東上

地名のとおり当地区の東野の上(北東)にある。東西のほぼ長方形、全域が(畑・高い位置)にあるからであろうか。北に山本村、東に久代村と接し、その久代村との間に大きな里道(丹波道)がある。その道に接しほぼ真中に草生地。

2. 東野屋敷東下

全域が前記と同じ「畑」で位置も、その下(南)にある。比較的広い。

3. 大塚(東大塚)

前記のさらに南にある。この地区もほとんどが「畑」である。北側、前記と接する所から、北東に回り込んだところまで「林」と、その北東に「藪」がある。

4. 西大塚

前記の西にあり、全域が「畑」

5. 下屋敷前

ほぼ全域が「畑」、宅地はない。

6. 上屋敷前

当東野地区のほぼ中央部にあり、さらにその中央部に宅地が1、藪・畑が各1、その他は畑。

7. 東ノ屋敷東(東野屋敷東)

集落の中心部分で最も北にある。宅地が半分、半分は畑

8. 東ノ屋敷西

前記と接する西半分が集落部分。中央部やや北に「社地＝春日神社」

※ 春日神社

宝暦9(1759)に社殿再建の記録がある。もとは、素戔鳴神社と称していたが、明治42年4月14日山本千秋にあった大野新田の村社「春日神社」と合併して、春日神社とあらためた。その東南は林。山本村と北から西に接している。現在、県道寺本川西線がある。

※ 白洲屋敷

白洲屋敷と呼ばれていた春日丘4丁目にあった白洲次郎の父文平の屋敷の長屋門が移築現存されている。(東野5丁目久保貞雄邸梅香園)

9. 西屋敷前

前記の南にあり、その接する北側に宅地があり、南に長い「逆三角形」をした区域。この集落の南側全部が畑。

10. 東池ノ上

やや東西に長い台形で、南端台形の底辺を、少し突っ込まれたようになっている区域で、中央部やや北側に墓地。他は畑。

11. 池ノ上

北から西に水路があり、それに沿った形で北側部分に草生地が4ヶ所。2ヶ所の田。他は畑

12. 城ケ市

比較的広い区域。西側の鴻池村に沿って天神川、それに沿って田あり、南から北東に寺本・川西線、北西に、鴻池村の南を通る有馬・中山道がある。

13. 北玉田

東に大鹿の主ヶ池、西に天神川があり、当東野地区への南の入り口の細く「くびれた」感じのする区域である。中央部を南北に街道が通り、北の部分に草生地。大部分は畑。この区域から南および東に「玉田」の地名が多い。

北東から西に、鴻池「上玉田」「上玉田内二番」「下玉田」「下玉田内二番」

南に東野「東玉田」「中玉田」 さらに南に大鹿「玉田」

南西に中野「西玉田」 また、現在は無いが、天神川の南に玉田川があった。

14. 東玉田

全域が畑、東西に県道がはしる。

15. 中玉田

ほとんどがシンプルな区域形態をしている当地区にあって、最も複雑な形をした区域である。南東で大鹿の「玉田」の飛び出た部分をくわえるようになっている。このあたりが「玉田のカギ」ではないだろうか。殆どが田である。草生地、池・溜池が南北に隣接している。

16. 壺番池ノ上ノ一

この「池ノ上」は南にあった、大鹿の主ヶ池・備前池・主前池に隣接する文字通り「池ノ上」の地区である。全域が草生地

17. 壺番池ノ上ノ二

18. 壺番池ノ上ノ三

19. 貳番池ノ上

南北に長い地形をしており、中央部を北東から南西にかけて街道が通る。南に三分之一が林。残りの北は草生地。現在の緑ヶ丘総監部南西の交差点から北の地区である。東野村は、江戸時代の寛永6年（1629）から開発が始まった新田中野村の枝郷である。伊丹市大字東野は、昭和42年11月10日の町名変更により、東野1丁目から8丁目となっている。

(文責：足立繁)